

2020 RACE REPORT

GAZOO Racing 86/BRZ Race

第8戦

10月17日(土)~18日(日)

岡山国際サーキット(岡山県美作市)

埼玉トヨペット
Green Brave



GR 86/BRZ Race

プロフェッショナルシリーズ

■■ 川合選手6位、吉田選手9位。ダブル入賞を達成 ■■

第8戦(4大会目)は今シーズン最後の2ヒートレース。予選と第1ヒートは土曜日、第2ヒートは日曜日に行われる。プロシリーズのエントリー台数は34台。

土曜日の天候は雨。前日までの練習走行はドライで行われたため、ぶっつけ本番の雨予選に。15分間の予選では川合選手が1分59秒401、吉田選手が2分00秒110をマーク。それぞれ11位と14位につけた。プロシリーズの決勝は15時30分から。雨は上がっており、路面は乾いていくことが予想されるため、吉田、川合両選手はチームと相談の上、ドライ寄りのセッティングを選択。路面が乾いていく後半に勝負をかけた。第1、第2ヒートともに周回数は12周。スタート直後の混乱はなく、川合選手11位、吉田選手13位で1周目を終了。川合選手は2周目に阪口選手を抜き、9位の織戸選手を僅差で追う。6周目に織戸選手を抜き、9位へ。その後も抜きつ抜かれつのバトルを展開し、ファイナルラップに蒲生選手をパス。8位でチェッカーを受けた。吉田選手は3周目に井上選手を抜き12位に上がると、8周目に1台、ファイナルラップにも1台を抜き、10位でチェッカー。両選手ともにトップ10圏内の好位置につけた。

日曜日の天候は晴れ。第2ヒートはドライで行われ、川合選手は8位をキープして1周目を終了。川合選手は1分51秒台の安定したペースで周回し、2周目に井口選手を抜くと、4周目には佐々木選手もパス。川合選手は接触せずに順位を上げてフィニッシュすることを目標にしていたが、言葉通りのクリーンなバトルを展開。6位でチェッカーを受け、開幕戦以来のポイントを獲得した。吉田選手は1周目に蒲生選手を抜くも、3周目に抜き返され10位を走行。吉田選手のペースは前を走る井口選手を上まわっているが、なかなか抜くことができない。2人の攻防はファイナルラップまで続き、吉田選手は井口選手に続く10位でチェッカー。レース後、上位の選手が失格になり、正式結果は9位となった。



#160 埼玉トヨペット GB 86 BS



吉田 広樹

総合結果：9位

第1ヒート：10位

第2ヒート：9位

予選：14位(2分00秒110)

■第1ヒート

晴れる側のタイヤ内圧でいったので、はじめはきつかったのと、前の選手を抜くのに2、3周かかってしまったので、その間に前が離れてしまい、きつそうな雰囲気になってしまいました。後半、タイヤの内圧が上がってきて、前がやり合っているのもあったので、ぼくのペースの方が速く、その争いに加わることができたかなと思います。

■第2ヒート

スタートしてすぐ、いいフィーリングで走っていたのですが、ポジション争い中に、タイヤを使ってしまいました。2、3周してポジションが落ち着き、前にしかけていたのですが、中盤から自分のタイヤも落ちてきて、ポジションキープになってしまいました。はじめのところでしたら順位を上げておけばもうちょっといい戦いでしたが、それもレースなので仕方ないです。

#521 埼玉トヨペット GB 86



川合孝汰

総合結果：6位

第1ヒート：8位

第2ヒート：6位

予選：11位(1分59秒401)

■第1ヒート

ちょっと難しいコンディションでした。ウェットから少し回復していく傾向でしたので、セッティングによっては前半が速かったり、後半が速かったり。その中で安定して走っていたので、良かったと思います。明日は絶対に当たらないようにしたいと思っています。内容のいいレースをして、順位を上げられるようにしたいです。

■第2ヒート

予選がウェットだったこともあり、雨で速かった人が下がってきたり、ドライであまり調子良くない人が前にきたりとか、集団になってしまったことが多かったので、そういう意味ではまわりを見ながら走るレースだったと思います。今回久々に入賞もできましたので、さらにいい結果を出して今シーズンを締めくくりたいと思います。

エンジニアコメント from 上尾支店・木村浩士

樫村選手の522号車を担当しました。わからないことが多々あるのですが、人に聞きながら、だいたい1人で作業をさせていただきました。ミッション交換や重整備など、支店でやったことのない作業を多くやったので、今後の仕事に活かしていければと思います。钣金修理と足まわりの修理をして、問題なく走れたので、そこも良かったと思います。

クラブマンシリーズ(オープン)

■ ■ 第1ヒートでジャンプアップするも悔しい19位 ■ ■

クラブマンシリーズ(オープン)のエントリー台数は今シーズン最多の43台。予選はウエットで行われ、7分過ぎに赤旗中断。残り6分でタイムを争う展開となる。榎村選手は前車と間隔をあけてアタックを行うも、最終セクターで他のクルマに引っかかってしまい、タイムは2分14秒438(22位)。予選後、ピットレーン速度違反のペナルティが榎村選手に課され、2グリッド降格に。24番グリッドからスタートすることになった。「第1ヒートで15位まで上がり、第2ヒートでトップ10入りを目指したいですね」と榎村選手。

第1ヒートはウエットで行われ、榎村選手は好スタート。なんと7台を抜き、17位でホームストレートに戻ってくる。3周目に16位、5周目に15位と順位を上げ、車両回収のためにセーフティカー(SC)が導入される。8周目からレース再開。榎村選手は9周目に14位に浮上し、そのままチェッカー。目標の15位を上回る順位でフィニッシュし、笑顔を見せた。第2ヒートはドライで行われ、榎村選手はスタートで出遅れたものの、14位をキープして1周目を終了。中盤争いは熾烈を極めており、自身のミスも重なり徐々に後退。4周目に17位、8周目に18位。9周目に上位のコースアウトにより15位まで順位を戻すが、11周目に19位となり、そのままチェッカー。トップ10入りを目標に掲げていた榎村選手にとって、非常に悔しい結果となったが、初出場で43台中19位という順位は大健闘。榎村選手はレース後、最終戦での健闘を強く誓った。



#522 GB CAMP 86



榎村徳俊

総合結果：19位

第1ヒート：14位

第2ヒート：19位

予選：22位(2分14秒438)

■第1ヒート

スタートで抜かないと混戦で苦しい展開になると思っていたので、狙っていました。1コーナーまでに3台を抜き、17位で帰ってくることができました。2周目以降は前のクルマを抜いてやろうと臨戦態勢で走りました。最後抜かれそうになり、やばかったのですが、トップ10を狙える位置につけることができました。第2ヒートも頑張ります。

■第2ヒート

ロケットスタートを狙っていましたが、悪くはなかったのですが、もっと上手な人が後ろにいて、2台ぐらい抜かれました。いつもやっている分、やられ返されたという感じですね(笑)。その後もシフトミスをしたり、飛び出したりと、自分で修正できませんでした。みんなとの力の差を感じましたが、1年目で半分から上の順位でフィニッシュできたのは良かったと思います。

【次戦予告】 11月21日(土)～22日(日) ツインリンクもてぎ(栃木県茂木町)

PARTNERS



アイ・ディ・アイ



EMG ルブリカント合同会社



株式会社エヌ・ティ・コーポレーション



株式会社 FM NACK5



大宮クリーン社・大進カーエアコン



株式会社岡崎巧芸



株式会社カーグラス・JP



埼群スリーボンド株式会社



埼玉トヨペット陸送株式会社



株式会社テレビ埼玉



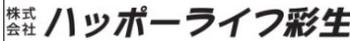
株式会社デンソーソリューション



株式会社ドーム



トヨタモビリティパーツ株式会社



株式会社ハッピーライフ彩生



富士ゼロックス埼玉株式会社



丸和工業株式会社



株式会社リビコー



レカロ